

筑波大学理療科教員養成施設活動報告

施設長	中野 秀樹 (併任：臨床医学系)
助教授	吉川 恵士 宮本 俊和
講師	徳竹 忠司 濱田 淳
文部科学技官	恒松 隆太郎
文部科学技官	神田 聖子
外来非常勤講師	小林 智子 菅原 正秋 田河 大史 半田 美香子 森山 朝正 森戸 麻美 山口 智
臨床専攻生	佐藤 卓弥 半田 美德
理療研修生	青木 広光 伊藤 淳子 梅林 浩気 小島 康義 仲條 佐登美 西村 博志 馬場 大輔 堀 雅史 松尾 茜 矢野 健太郎
研究生	河野 隆則 長谷川 香代

今年度は、以上 28 名のスタッフにより、筑波大学理療科教員養成施設理療臨床部における外来臨床を運営した。

1. 施設の概要

本施設は、あん摩マッサージ指圧師免許・はり師免許・きゅう師免許の 3 種を有する者を入学資格とし、20 名の学生に 2 年間(88 単位)の教員養成教育を行い、卒業時に盲学校・視力障害センター・専修学校等の鍼灸マッサージ課程の教員免許を与える施設で、教育職員免許法にもとづき文部省が指定した教員養成機関である。また施設附属の「理療臨床部」を中心として、あん摩マッサージ指圧、鍼灸、物理療法の基礎的・臨床的研究および鍼灸師の卒後臨床教育を行うことを目的としている。

施設スタッフは、教員 5 名、技官 2 名、事務官

3 名で学生教育・卒後臨床教育を担当し、臨床活動・研究活動には、臨床専攻生・理療研修生が加わる。

臨床専攻生は、鍼灸に関する研究指導を受ける者で、大学あるいは本施設卒業生が入学できる。

理療研修生は、鍼灸に関する臨床指導を受ける者で、あん摩マッサージ指圧師免許、はり師免許、きゅう師免許を有する者が入学できる。

2. 入学・就職状況

1) 施設学生入学

①盲学校専攻科卒業見込者を対象とした平成 15 年度推薦入学では、受験者 19 名(女性 9 名)、合格者 6 名(女性 5 名)であった。

②一般入学では、受験者 78 名(女 20 名)、合格者 17 名(女 8 名)であり、盲学校 15 名、専門学校 4 名、視障センター 2 名、短期大学 2 名、男性 9 名・女性 8 名であった。

2) 施設学生就職

本年度卒業予定者は 23 名、教員の求人数は 33 名であり、就職先の内訳は、盲学校 16 名(東北北海道 2 名、関東甲信越 4 名、近畿 5 名、中国 3 名、四国 1 名、九州沖縄 1 名)、視障センター 1 名、専門学校 3 名であった。

3) 臨床専攻生、理療研修生入学・就職

臨床専攻生入学は、受験者 2 名、合格者 2 名であり、理療研修生は、受験者 13 名、合格者 6 名であった。臨床専攻生 2 名・理療研修生 6 名は進級し、臨床専攻生 1 名、理療研修生 5 名は開業・就職した。

3. 業務

1) 医学専門学群 1 年生 10 名を対象に、医学セミナー「東洋医学入門」2 単位、4 年生 42 名を対象に、アドバンストコース「今日の医療としての東洋医学」について講義・実習を行った。

2) 現職教育の一環として、盲学校理療科教員 116 名を対象に、4 日間「理療臨床実習」をテーマに東京都内において講習会を開催した。

3) 社会人 43 名を対象として、公開講座「健康と東洋医学きる手技療法」について講義と実習を行った。

4. 臨床活動

1) 理療臨床部

理療臨床部における診療は、月～金曜日の午前

9時～午後5時(水曜日は、9時～12時)であり、全スタッフを2グループ(月木班、火金班)で運営し、指導者2～4人に、学生・専攻生・研修生がついて臨床にあたっている。本年度の理療臨床部の患者数は、初診304名、年間のべ患者数は6,972名である

2) 共同研究

①筑波大学トレーニングクリニック：臨床医学系教官、体育科学系教官との共同研究により、スポーツ障害の鍼治療の効果、スポーツパフォーマンスに及ぼす鍼治療効果について検討している。

②筑波大学呼吸器内科：気道過敏性に対する鍼刺激の影響に関する研究を行っている。

③順天堂大学泌尿器科：慢性前立腺炎を中心に泌尿器科領域の鍼治療の研究を行っている。

④東京大学麻酔科痛みセンター：慢性疼痛患者に対する低周波鍼通電療法の有用性に関する研究を行っている。

5. 研究活動

◇原 著

- 1) 大嶋みどり, 桑原寿美, 中野初美, 吉川恵士: 理療教育課程における中途視覚障害者に対する点字指導に関する調査研究. 第12回視覚障害リハビリテーション研究発表大会論文集. 2003: 99-102.
- 2) 丹沢章八, 吉川恵士他: 鍼灸等臨床教育におけるOSCEの導入に関する研究, 平成14年度専修学校職業教育高度化開発研究委託最終事業実績報告書. 2003. 3.
- 3) 寺田和史, 和田恒彦, 宮本俊和: 競技会前のスポーツ選手に対する鍼治療—大学スポーツ選手における鍼治療の利用実態—. 東洋医学とペインクリニック. 31: 41-49. 2003.
- 4) 宮本俊和, 濱田淳, 和田恒彦, 寺田和史, 市川あゆみ, 鍋倉賢治: マラソン後の筋痛と筋硬度に対する円皮鍼の効果—二重盲検ランダム化比較試験による検討—. 日本東洋医学会雑誌. 2003: 54(5): 939-944.

◇著 書

- 1) 伊藤正男, 井村裕夫, 高久史磨, 吉川恵士他: 医学大辞典. 医学書院. 版1刷, 東京. 2003.
- 2) 木村愛子, 吉川恵士他: 日本あん摩の基礎と臨床(ベトナム語版). 桜雲会点字出版所, 東京. 2003.
- 3) 恒松隆太郎, 内田義之: 呼吸器診療二頁の秘訣, 呼吸器疾患と鍼治療. 金原出版, 東京, 2003.

◇総 説

- 1) 吉川恵士: 局所治療と沿革治療—運動器疾患を対象として—一局所治療の立場から, 全日本鍼灸学会雑誌. 53(1): 8-13.
- 2) 宮本俊和: スポーツ選手の腰痛に対する鍼治療の効果, 現代鍼灸学, 3(1): 77-80.
- 3) 徳竹忠司: 基礎と臨床の対話: ここまでわかった鍼灸医学—末梢循環に対する鍼灸治療の効果—ヒトにおける基礎研究のレビュー. 全日本鍼灸学会雑誌. 53(1): 36-42.

◇学会発表

- 1) 恒松隆太郎, 中野秀樹, 内田義之: 慢性咳嗽に対する鍼治療の効果, 第54回日本東洋医学会学術総会, 福岡, 2003. 6.
- 2) 森戸麻美, 菅原正秋, 吉川恵士: 鍼灸治療を受療する患者の健康関連 QOL—SF-36 を用いて—. 第52回全日本鍼灸学会学術大会, 高松, 2003. 6.
- 3) 森戸麻美, 菅原正秋, 吉川恵士: 鍼灸治療を受療する患者の QOL. 第68回日本温泉気候物理医学会. 群馬. 2003. 5.
- 4) 大嶋みどり, 桑原寿美, 中野初美, 吉川恵士: 理療教育課程における中途視覚障害者に対する点字指導に関する調査研究. 第12回視覚障害リハビリテーション研究発表大会. 神戸.
- 5) 宮本俊和: ワークショップ「鍼灸安全性の情報更新と具体的方策の検討」, 第52回全日本鍼灸学会学術大会. 高松. 2003. 6.
- 6) 半田美香子, 徳竹忠士, 宮本俊和: 指サックが刺鍼手技に与える影響—継続的使用による痛みの変化—. 第52回全日本鍼灸学会学術大会. 高松. 2003. 6.
- 7) 宮本俊和: シンポジウム「コンディショニングにおける鍼の応用: 大学スポーツ選手に対する鍼治療効果」. 第58回日本体力医学会. 静岡. 2003. 9
- 8) 堀雅史, 大岡茂, 向井直樹, 宮川俊平, 宮本俊和: スポーツ選手の腰痛に対する低周波鍼通電療法が皮膚温、筋硬度に与える影響. 第58回日本体力医学会. 静岡. 2003. 9.
- 9) 宮本俊和: ワークショップ「スポーツ鍼灸マッサージの実際」. 第29回日本東洋医学系物理療法学会. 郡山. 2003. 10.
- 10) 小林大介, 秋本崇之, 宮本俊和, 河野一郎: セラミックネックレスが体表温に与える影響. 第14回日本臨床スポーツ医学会. 幕張. 2003. 11.
- 11) 徳竹忠司, 吉川恵士: 手技の違いが自律神経反射に及ぼす影響. 第14回日本手技療法学会学術大会. 熱海. 2003. 3.

◇その他

- 1) 吉川恵士：家庭療法 健康 24 時 2003 年 1 月(31 回 436 号)～2003 年 12 月(42 回 447 号) 医学と電子 日本電子治療器学会.
- 2) 北川 毅, 濱田 淳：FACT 誌掲載 [鍼灸関係論文]23. 耳鍼は手術前の不安を減少させる. 医道の日本, 61(1):130-131, 2003.
- 3) 北川 毅, 濱田 淳：FACT 誌掲載 [鍼灸関係論文] 25, 1 次性月経困難症における鍼のエビデンスは不十分. 医道の日本, 62(3):39-41, 2003.
- 4) 濱田 淳, 堀口和彦：FACT 誌掲載 [鍼灸関係論文] 26, 耳介手技鍼灸療法はアルコール依存症に無効. 医道の日本, 62(4):62-64, 2003.
- 5) 濱田 淳, 堀口和彦：FACT 誌掲載 [鍼灸関係論文] 29, 禁煙のための鍼の RCT の結果は解釈が困難. 医道の日本, 62(7):39-41, 2003.
- 6) 佐藤卓弥, 濱田 淳：慢性前立腺炎に対する鍼灸療法内閉鎖筋アプローチ. 鍼灸 OSAKA, 19(1):40-45, 2003.
- 7) 徳竹忠司：腓腹筋痙攣に対する低周波鍼通電の効果. 現代鍼灸学, 3(1):29-31, 2003.

◇講 演

- 1) 吉川恵士：腰痛に対する低周波鍼通電療法の実際. 千葉県鍼灸マッサージ師会平成 14 年度学術講演会 2003. 2.
- 2) 吉川恵士：膝の診察と鍼灸治療. 現代医療臨床鍼灸研究会, 基礎講座 2003. 4.
- 3) 吉川恵士：VDT 首肩のこり・冷え性の診察・手技療法. ヘルスキーパー協会平成 15 年度学術総会 特別講演. 2003. 5.
- 4) 吉川恵士：障害者職業教育と CBR、障害分野 NGO 連合会(JANNET)研究会. 2003. 6.
- 5) 吉川恵士：特別支援教育と理療科教育の現状と将来. 盲学校理療科教育研究会. 三重. 2003. 8.
- 6) 吉川恵士：指導助言 全国盲教育研究大会 理療分科会「本科保健理療科 国試不合格者の現状」. 2003. 8.
- 7) 吉川恵士：低周波鍼通電療法の基礎と臨床. 福岡高等盲学校研修科 特別講義. 2003. 9.
- 8) 吉川恵士：鍼灸マッサージとは何か, 東京ポリオの会平成 15 年度集会 2003. 9.
- 9) 吉川恵士：理療科教育・盲教育の現状と将来. 東北北海道盲教育研究大会. 2003. 10.
- 10) 吉川恵士：首肩のこり・五十肩に対する低周波鍼通電療法. 宮城県鍼灸マッサージ師会平成 15 年度学術大会 特月特別講演. 2003. 11.
- 11) 吉川恵士：腰痛に対する低周波鍼通電療法. 千

葉県鍼灸マッサージ師会平成 15 年度学術大会 特別講演. 2003. 11.

- 12) 吉川恵士：女性疾患に対する低周波鍼通電療法. 岡山県鍼灸マッサージ師会学術大会 特別講演. 2003. 11.
- 13) 吉川恵士：指導助言 長野県立長野盲学校研究授業 基礎実習授業. 2003. 12.
- 14) 吉川恵士：日本における視覚障害者理療教育について. アジア太平洋福祉セミナー 特別講演. 2003. 12.
- 15) 宮本俊和：肩関節のスポーツ傷害, スポーツセラピィ神奈川, 藤沢, 2003. 3
- 16) 宮本俊和：肩関節のスポーツ傷害, スポーツセラピィ埼玉, 大宮, 2003. 5
- 17) 宮本俊和：スポーツ分野での鍼灸治療. 国際鍼灸専門学校. 東京. 2003. 6.
- 18) 宮本俊和：第 22 回熱画像検査法講習会「運動器疾患の熱画像検査」, 日本サーモロジー学会, 東京, 2003. 6.
- 19) 宮本俊和：スポーツ鍼灸. 岡山県鍼灸師会. 岡山. 2003. 7.
- 20) 宮本俊和：頸肩部の鍼灸マッサージ. 兵庫鍼灸マッサージ師会. 兵庫. 2003. 8.
- 21) 宮本俊和：感染防止、スポーツセラピィ埼玉. 埼玉. 2003. 10.
- 22) 宮本俊和：スポーツ外傷・障害の鍼灸治療. 低周波鍼通電療法研究会. 福岡. 2003. 11.
- 23) 徳竹忠司：シンポジウム「変形性膝関節症に対する鍼灸治療」. 第 17 回現代医療鍼灸臨床研究会. 東京. 2003. 4.
- 24) 徳竹忠司：頸肩部の筋に対する低周波鍼通電. 文京理療研究会. 東京. 2003. 12.

6. 社会活動

- 1) 視覚障害あはき師を対象としたテープ雑誌, ラジオ放送等を通じて, 医学および鍼灸医学の現状について情報提供を行った.
- 2) 本学医学専門学群 1・4 年生を対象とした東洋医学ゼミで, 鍼灸, 手技療法について講義実習した.
- 3) 本学学生の一般科目として, 約 40 名を対象として, 鍼灸マッサージについて講義した.
- 4) 本学人大学院スポーツ医学専攻において, 物理療法・鍼灸に関する授業を担した.
- 5) 鍼灸師の卒後教育課程における臨床指導を担当した.
- 6) アジア地域の視覚障害者の職業自立のための, マッサージ教育に関連し, 現地(ベトナム, マレーシア)での教育を担当し, またアジア全体の支援体制(センター構想、教育課程)づ

くりに参画している。

- 7) あはき国家試験の出題基準作成のための委員会
のまとめを担当した。
- 8) あはき教育推進のための学会創設に参画し、
第1回あはき教育研究大会の実行委員として
参加した。